

一宮日刊記者クラブ同時



セミナーの様子（昨年度）

平成27年5月20日（水）

あいち産業科学技術総合センター
尾張繊維技術センター 素材開発室

担当 島上、有馬

電話 0586-45-7871

愛知県産業労働部産業科学技術課
管理・調整グループ

担当 加藤、山田、杉山

内線 3389、3388

ダイヤルイン 052-954-6347

「繊維技術セミナー」の参加者を募集します！

— 獣毛鑑別法^{※1}、デジタル^{なっせん}捺染技術^{※2}等について講演します —

あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センターでは、（一社）日本繊維機械学会東海支部、（公財）一宮地場産業ファッションデザインセンター及び愛知県繊維振興協会と共催で、繊維業界で注目されている新しい技術を紹介するため、「繊維技術セミナー（平成27年度日本繊維機械学会記念講演会）」を開催します。

今回のセミナーでは、消費者の関心が高いカシミアなど独特の風合いや機能を持つ高級獣毛製品に対して材料獣毛の新しい鑑別法及び高精細な図柄を無製版で布地に染色できるデジタル捺染技術等について紹介します。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

1 行事名

繊維技術セミナー（平成27年度日本繊維機械学会記念講演会）

2 日時

平成27年6月30日（火） 13時20分から16時まで

3 場所

（公財）一宮地場産業ファッションデザインセンター 4階視聴覚室

住所：一宮市大和町馬引字南正亀4-1

電話：0586-46-1361

JR一宮駅、または名鉄一宮駅より名鉄バス「繊維センター前」下車すぐ

4 参加費

無料

5 定員

100名（先着順）

（ただし、定員に達し次第締め切ります。定員超過の場合のみ、ご連絡させていただきます。）

6 主催

あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター
一般社団法人日本繊維機械学会東海支部
公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター
愛知県繊維振興協会

7 内容

- (1) 「布を用いた柔らかい入力デバイスの開発」 13:20～13:35
尾張繊維技術センター 主任研究員 ^{ほりば たかひろ}堀場 隆広
- (2) 「羊毛繊維の銀粒子沈着処理と処理羊毛布の特性」 13:35～13:50
椋山女学園大学大学院生活科学研究科
生活環境学専攻 ^{ふなはし}舟橋 みゆき 氏
- (3) 「質量分析計を利用した新しい獣毛鑑別法」 13:50～14:50
金沢工業大学ゲノム生物工学研究所 教授 ^{おおはし しんいち}大箸 信一 氏
- (4) 「デジタル捺染技術について」 15:00～16:00
長瀬産業株式会社カラー&プロセッシング事業部
デジタル捺染開発室 ^{やまだ りゅうじ}山田 竜二 氏

8 申込方法

参加申込書に必要事項（会社名・団体名等、電話番号、氏名、所属、e-mail アドレス）をご記入のうえ、FAX 又はメールにてお申し込みください。

FAX：0586-45-0509

e-mail：owari-kikaku@aichi-inst.jp

*参加申込書の入手方法：本県のホームページからダウンロードしてください。

<http://www.aichi-inst.jp/owari/other/seminar/>

9 問い合わせ先

あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室

担当 島上、有馬

所在地 一宮市大和町馬引字宮浦35

電話 0586-45-7871

FAX 0586-45-0509

用語説明

※1 獣毛の鑑別

カシミアやウールを混紡・混用した製品において、品質表示をする際、製品にどれだけの割合で含まれているかを確認する必要があります。従来、鑑別は目視によって行われてきました。しかし、この方法は非常に手間がかかる上、繊維に様々な加工が施されていると鑑別が困難な場合があります。

そこで、最近では分析機器を用いて短時間で鑑別をおこなう方法が開発されています。

※2 デジタル捺染

従来の捺染はスクリーン版を使っておこなわれています。この方法では色ごとに版を作製する必要があり、色数も限度があります。

デジタル捺染ではパソコンで作成したデザインを直接布に染色（プリント）します。無限に近い色数で表現できるため、高精細な表現ができます。

インクジェット方式や静電電子写真方式があります。